

配付先: 文部科学記者会、科学記者会、東北電力記者クラブ、京都大学記者クラブ、北海道教育庁記者クラブ、青森県政記者会、宮城県政記者会、神奈川県政記者クラブ、兵庫県教育委員会記者クラブ、西播磨県民局記者クラブ、中播磨県民センター記者クラブ、高知県政記者クラブ、宮崎県政記者クラブ、沖縄県政記者クラブ、横須賀市政記者クラブ、むつ市政記者会、名護市駐在 3 社



2024年2月16日

国立研究開発法人海洋研究開発機構  
国立大学法人東京大学地震研究所  
国立大学法人北海道大学大学院理学研究院  
国立大学法人東北大学  
国立大学法人千葉大学大学院理学研究院  
国立大学法人東京海洋大学  
東海大学海洋学部  
国立大学法人京都大学防災研究所  
兵庫県公立大学法人兵庫県立大学大学院理学研究科  
国立大学法人鹿児島大学大学院理工学研究科

## 令和6年能登半島地震に伴う学術研究船「白鳳丸」緊急調査航海（第二次）の実施について

海洋研究開発機構（以下「JAMSTEC」という。）、東京大学地震研究所、北海道大学大学院理学研究院、東北大学大学院理学研究科、千葉大学大学院理学研究院、東京海洋大学学術研究院海洋資源エネルギー学部門、東海大学海洋学部、京都大学防災研究所、兵庫県立大学大学院理学研究科、鹿児島大学大学院理工学研究科からなる研究チームは、令和6年2月19日より JAMSTEC が所有する学術研究船「白鳳丸」（写真1）を用いた調査航海（第二次）において、令和6年1月に同じく「白鳳丸」調査航海（第一次）により設置した海底地震計（OBS、※1）34台のうち26台及び海底電位磁力計（OBEM、※2）2台全ての観測機器の回収（図1）と OBS 約20台及び OBEM 約5台の追加設置を主とする調査航海を下記の日程・海域で実施いたします。

第一次調査航海にて設置した残りの観測機器（OBS8台）及び今回の第二次調査航海で新たに設置する観測機器は令和6年夏頃の回収を予定しています。回収後、得られたデータを詳細に分析し、今回の地震を起こした地震断層の実態や地震・津波の発生メカニズムを明らかにするとともに、地震活動の推移の把握等を目指します。調査結果は、令和6年春頃に地震調査研究推進本部地震調査委員会等に報告する予定です。

本調査航海は文部科学省科学研究費補助金（特別研究促進費）（23K17482）の一部支援により行います。

また、令和6年3月には同じく「白鳳丸」を用いて、震源断層の構造探査の実施等を目的とする第三次調査航海を予定しています。

（参考）令和6年能登半島地震に伴う学術研究船「白鳳丸」緊急調査航海の実施について  
[https://www.jamstec.go.jp/j/about/press\\_release/20240112/](https://www.jamstec.go.jp/j/about/press_release/20240112/)

### 記

○「白鳳丸」航海日程 令和6年2月19日（月）～3月1日（金）

新潟港出港・富山新港帰港

※気象条件や調査の進捗状況によって予定が変更となる場合があります。

○調査海域 能登半島沖周辺海域（図1参照）

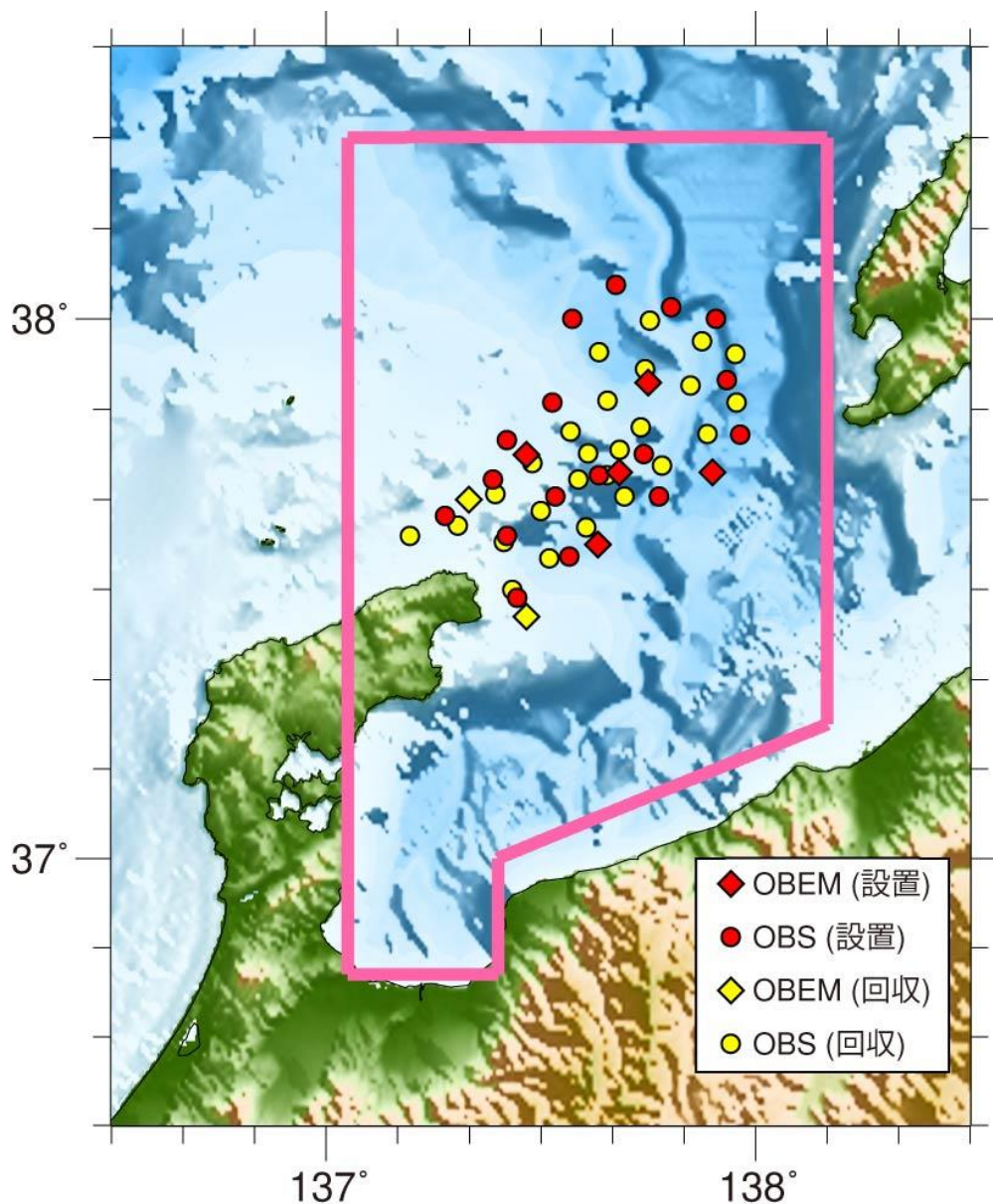
**【用語解説】**

※1 海底地震計 (OBS: Ocean Bottom Seismograph) : 船舶により海底に設置し、耐圧容器に内蔵したセンサーにより数か月から1年程度地震波を観測し、レコーダーによりデータを蓄えることができる。音響通信により錘を切り離し、自己浮上したところを船舶により回収する。

※2 海底電位磁力計 (OBEM: Ocean Bottom Electromagnetometer) : 海底地震計と同様、船舶により海底に設置し、一定期間磁場及び電場を測定する。取得した磁場及び電場データから海底下の電気の流れやすさを可視化し、流体の分布を把握することができる。



(写真1) 学術研究船「白鳳丸」



(図 1)海底地震計(OBS)(●)及び海底電位磁力計(OBEM)(◆)の設置及び回収予定位置。

お問い合わせ先：

(報道担当)

海洋研究開発機構 海洋科学技術戦略部 報道室

電話：045-778-5690 E-mail：[press@jamstec.go.jp](mailto:press@jamstec.go.jp)

東京大学地震研究所 広報アウトリーチ室

電話：03-5841-2498 E-mail：[orhp@eri.u-tokyo.ac.jp](mailto:orhp@eri.u-tokyo.ac.jp)

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター  
地震火山地域防災情報支援室

E-mail：[isv-web@ml.hokudai.ac.jp](mailto:isv-web@ml.hokudai.ac.jp)

東北大学大学院理学研究科 広報・アウトリーチ支援室  
電話：022-795-6708 E-mail：[sci-pr@mail.sci.tohoku.ac.jp](mailto:sci-pr@mail.sci.tohoku.ac.jp)

東京海洋大学 総務部 総務課 広報室  
電話：03-5463-1609 E-mail：[so-koho@o.kaiyodai.ac.jp](mailto:so-koho@o.kaiyodai.ac.jp)

京都大学防災研究所 広報出版企画室  
電話：0774-38-4640 E-mail：[toiawase@dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:toiawase@dpri.kyoto-u.ac.jp)

兵庫県立大学 播磨理学キャンパス 経営部 総務課  
電話：0791-58-0101 E-mail：[soumu\\_harima@ofc.u-hyogo.ac.jp](mailto:soumu_harima@ofc.u-hyogo.ac.jp)